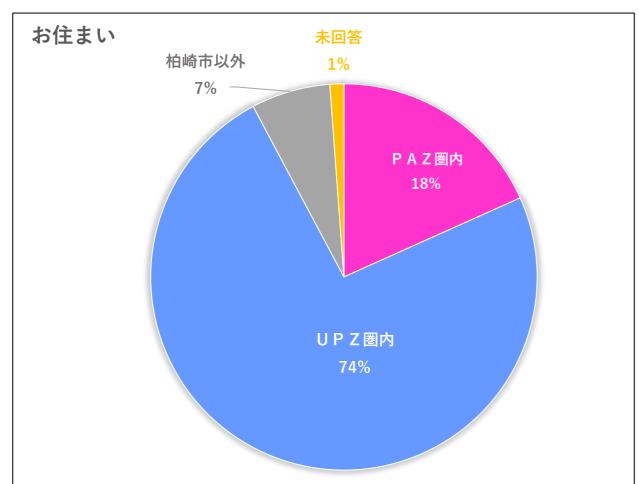
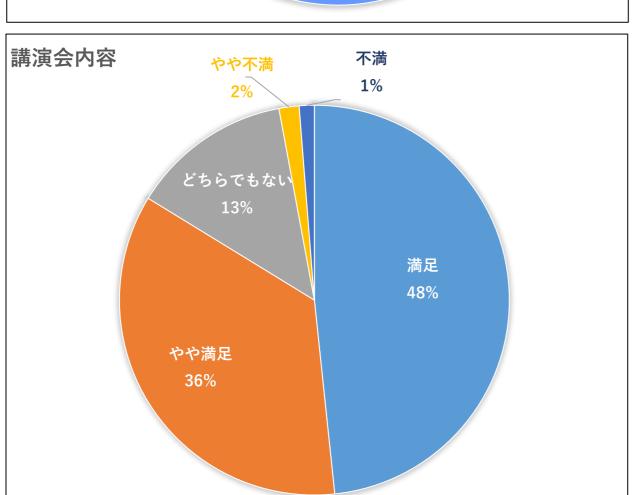
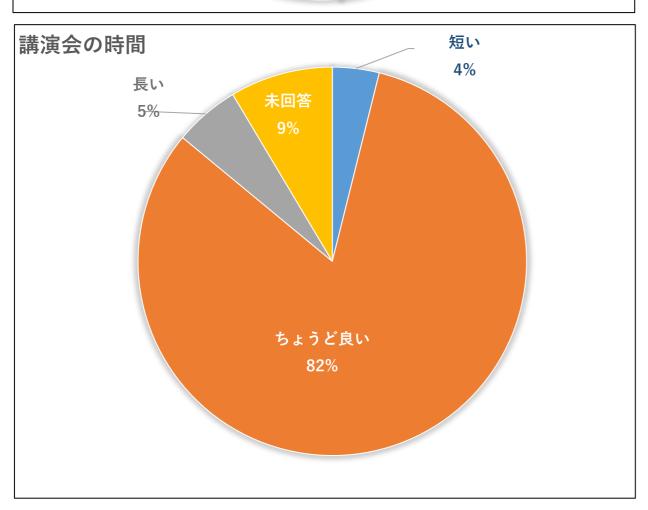
3月2日 複合災害時の避難に関する講演会アンケート結果

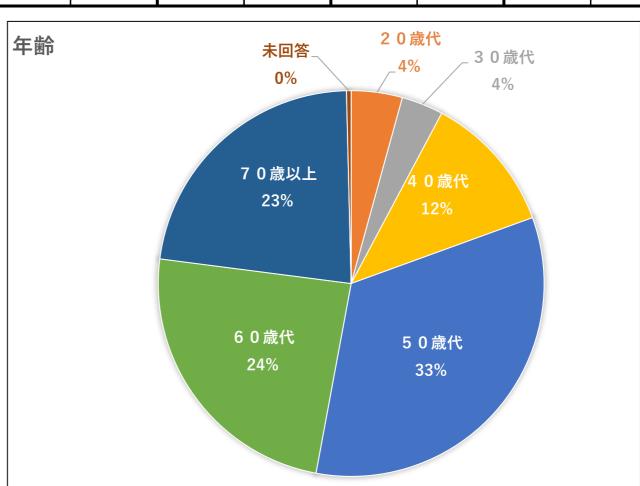
参加者:285人 アンケート回答257人(回答率90%)

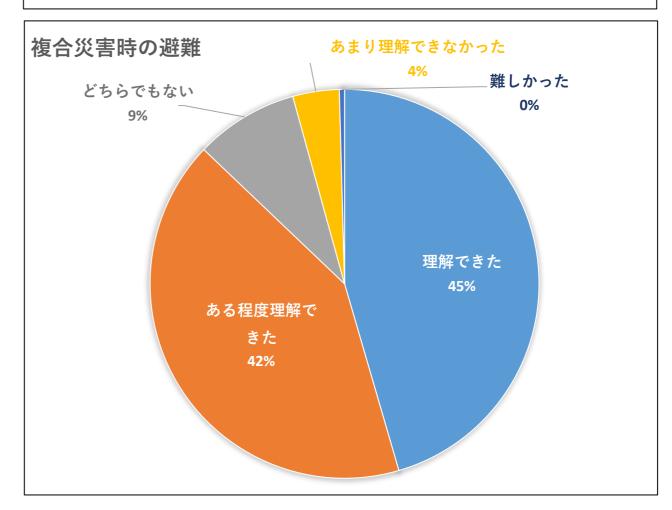
Q1		Q2		Q3		Q4		Q5		Q6		Q7		Q8	
お住まい	٨	年齢	٨	講演会内容	Д	複合災害時の 避難	٨	講演会の時 間	1	印象に残った 言葉・考え方 など	٨	ご意見・ご 感想	件	今後の開催希 望(防災に関 するもの)	
PAZ圏内	47	19歳以下	0	満足	116	理解できた	106	短い	10	意見	157	意見	121	意見	49
U P Z 圏内	190	20歳代	11	やや満足		ある程度理 解できた	97	ちょうど良 い	211	なし	100	なし	136	なし	208
柏崎市以外	17	30歳代	9	どちらでもな い	32	どちらでもな い	20	長い	14						
未回答	3	4 0 歳代	30	やや不満		あまり理解で きなかった	9	未回答	22						
		50歳代	86	不満	3	難しかった	1								
		6 0 歳代	62	未回答	17	未回答	24								
		7 0 歳以上	58												
		未回答	1												
計	257	計	257	計	257	計	257	計	257	計	257	計	257	計	257











No.	印象に残った言葉・考え方など
1	複合災害がおこった場合、原子力災害対応よりもその他の災害対応をすべき
2	「自然災害対応を優先すべきである。」こと。科学的根拠に基づく、分かりやすい説明だった。
	P21の内容が重要だと思う。
3	複合災害は原子力のことを忘れて
4	事故は、まず起きないだろう。起きたとしても対応できる準備がある
5	歯切れの悪い話しと受けた
6	・「複合災害時には屋内退避が原則である」ということ。
	・屋内退避の目的と利点について、とても参考になった
7	複合災害の時は思い込んでいるほどこわくない
·	一番こわいのは、こわい気持ち、不安な気持ち
8	原子力災害で避難したら、復興できないと言われたと思いますが、農地も牛も被ばくしていて住みつづけら
	れるのですか。実態にあわないお話でした。
9	避難であわてて動くことは考えるべきだと考えてみます。
10	復興のことまで考えて、市民みんなで災害について考えていく
11	複合災害時は原子力災害より自然災害の心配をまず先にすべき、ということ。
12	普段からの学習
13	放射線の不安を解消する学習をする
14	放射能に対する不安を払拭
15	原子力防災計画と避難計画は違う。
	避難しないで屋内
	原子力災害より自然災害を優先
16	複合災害の時は自然災害の避難を優先し、原子力災害を忘れる。避難しなくていいという言葉は分かるよう
	な分からないような、まだ、ふにおちない。ただ、慌てて逃げることは避けた方がいいとは感じる。特に高
	齢者や障害者。
17	「ゼロリスク」
	放射線への不安〜健康被害には根拠がない。国は無駄を行っているとのことなので、実際に即した対応が望
	まれると思う。
18	市民ひとりひとりが、科学的根拠に基づいた知識を持つ必要性がある。(少なくとも柏崎市民、できれば
	30km圈内者)
19	1F事故の放射線被ばくの健康影響なしはおどろいた
20	放射能そのもので死亡することはないとのこと
21	「複合災害時の避難の際は原発事故のことは忘れ、自然災害の避難を優先する」
22	自分で普段から学習することが大切
23	一刻も早く避難という認識でいたが、それが逆に関連死を多く引き起こすことを知り、無知とは恐ろしいも
	のと感じた。
	多くの市民に広く知って欲しい。先の地震の時も避難が必要でない地域の人達が勝手に避難所ではない場所
	へ避難して、自分たちの要望を押しつけていたと聞きました。
24	複合災害のとき、原子力災害の避難より、まず命を守る。
25	複合災害時の原子力災害の対応は後回しにする
26	無理な避難はしないこと
	複合災害時は放射線被ばく以外の対応を優先すること
27	屋内退避の必要性
	田中先生の再度説明会をお願いします

No.	印象に残った言葉・考え方など
28	皆さんの興味の高さに感心した。
	専門家の話を生で聞けて良かった。
29	でいる
	で、すんなり理解できました。
30	複合災害時、原子力災害を優先しないということ。
31	複合災害の際は、まず、原子力災害ということを忘れるように ということ
32	避難判断のむずかしさ
33	避難せず、屋内にいた方が良いという見識
34	│ いろんな考え方方の方の意見があった。反対派の強い意見があったが、回答がスッキリした。
35	複合災害の時は、原子力災害は忘れて行動してほしい。
36	原発関連事故で健康人の生死に影響がないとのことはビックリでした。まゆつばとうけとめています。
37	
38	
39	ヒナンしない、ヒナンするとふるさとがなくなるという指摘
40	無理な避難はしないこと。自然災害を優先すること。
41	自然災害を優先するんだということ。
42	・原子力災害は皆が思っているほどこわいものではない。
	 ・日本の基準を直さないと福島の復興はありえない
	 ・避難しない、「ふるさと」がなくなる
	 ・安全は規制だけでは守れない、人の技術が大切
	・長距離移動はしない方がいい
43	複合災害時は先ず原子力防災以外を優先
	放射線被ばく防止のための避難は慌てることが禁物であること
	避難したらふるさとがなくなる(福島の例)
44	避難は必要ないという考え方→分かるが、不安は残る!
45	住民が思っている原子力情報の誤りについて、いろいろと知ることができた。
46	複合災害時は自然災害を優先して必要な行動をとること。原子力はあまり問題ではない
47	P21:放射線被ばく防止の為の避難は慌てることは禁物である。(事故時に無理は避難をする事により、多
	数の犠牲者を出す)。放射線被ばくによる健康被害は生じない。
	P10:流布された放射線の不安は根拠無し。
	P24:普段から放射線に関して勉強・学習すること
	P27:復興を妨げている合理性のない放射線防護基準
	安全は規制だけではダメ
48	避難しない(屋内)、人間の心理ではどうかと思う。(集団行動をとるのでは)
49	複合災害時―原発は忘れて行動してほしい。
50	妊婦や乳幼児と高齢者を同じように考えるのは体の仕組みとして無理がある。
51	原子力災害をわすれてほしい!!
52	事故時の「困わく」
53	UPZ圏内に住む私は、原子力事故の場合早期避難しなければ(遠くへ)と思っていましたが、事故発生時
	は自宅ないし適切な施設に屋内退避することが原則であるとのことです。認識を改める必要を感じました。
54	「複合災害においては原子力災害を忘れる」という考え方。
55	まったく説得力がない。論理が飛躍しすぎる。
56	放射能被ばく防止のための避難は慌てることが禁物であること

No.	印象に残った言葉・考え方など
57	避難することのリスクについて印象に残った。
58	複合災害時には先ず原子力防災以外を優先する
59	原発事故で被ばくの心配があまりないとの事でビックリしました。
60	避難するとふるさとがなくなる。
61	複合災害のときは原子力災害を重視するのではなく、他の災害を優先すること。安易に避難することで、死
01	者を増やすことにつながる。
62	無理に避難させることの方が、災害関連死の増加につながる、というお話が印象にのこりました。
63	原子力災害では緊急・早急に避難する必要がないということ。
64	普段からの学習、知識を正しく持って行動を考えること。複合災害の場合、自然災害を優先すること。
65	原子力災害対応は急ぐ必要がないこと。
66	複合災害時は原子力災害は忘れて、自然災害の対応(避難)する。
67	自然災害と原子力災害が重なった場合は、自然災害への避難を優先するという言葉が印象的でした。
68	福島事故においては、避難したための関連死の死亡率の方が高かったこと。
69	原子力災害について、初めての視点でお話を聞くことができました。
70	複合災害時、原子力対策は後回しでよい。
71	避難をしたことによる関連死が多かった事実。被ばく基準の高さ、他国との大きな違い。
72	複合災害時には原子力災害対策は後に考える。生命の確保、災害関連死を出さない。
73	複合災害時には、先ず放射線被ばく防止以外の対応を優先し、生命の安全確保を図ることが防災避難計画の
13	基本。正しい理解が必要。行政は学習できる取組が必要。
74	
75	キセノン133の被ばくを避ける→屋内退避。複合災害では、原子力防災以外を優先する。 本屋の判断が正しければ今ストレート」。原想です。
76	市長の判断が正しければ全てよし。という感想です。 避難はしない
77	歴無はしない 命を守る行動 = 避難ではないということ。避難することで失われた命もたくさんあったということ。避難す
1 1	
70	るとふるさとがなくなるという言葉はとても印象に残りました。 複合災害時には、先ず原子力防災以外を優先する。
78	
79	複合災害時にはまずは自然災害を優先すること。
80	必要以上に恐れることはないことが分かりました。冷静に議論できる環境が必要だと思います。
81	原子力災害時避難しない。住民避難により地域コミュニティの崩壊が発生する。
82	複合災害の時は、「原子力のことは忘れて、命をまもること」が印象的だった。とても分かりやすかった。
83	事故時原子力発電所ににげれ!
84	すぐに避難しないこと
85	原発に対する異常な反応を反省した
86	複合災害時には原子力災害のことを忘れていい
87	複合災害時はまず地震や津波を考える。原子力雑賀はその後。
88	複合災害時については、原子力災害は忘れてよい。原子力災害は皆が思っているほど恐くない。
89	忘れろ!
90	複合災害時には先ず原子力防災以外を優先する(原子力防災対応は急ぐ必要はない)
91	避難に伴って多くの犠牲者を出してしまった。
92	「複合災害時には原子力災害を忘れて」という言葉に驚きました。市内での学習会をお願いする場合は、同
	じ立場(考え方)の講師さんだけでなく別の考え方の講師さんがいてもよいのではないでしょうか。(様々
	な考えが言われていますので)
	被ばく量と病気の関連をもっと勉強したいです。
93	市民の不安をとり除くには、今回の講演会を期に町内で取りくみたい。

No.	印象に残った言葉・考え方など
94	F 1事故、放射線被ばくで健康被害無し、避難で関連死が発生している
95	今どきうら日本と言われた事!
96	放射線の安全数値について
97	「避難しない事について」、印象に残りました。柏崎市の防災ガイドブックと異なる考えでビックリしまし
	た。
98	複合災害時では原子力災害のことは考えないという考え方は今までなかったため勉強になった。
99	科学的、合理的、客観的にトップの判断、原子力と関わる
100	・原発事故は故郷をこわす
	・ひなんしないひなん計画、複合災害時は原子力災害対策は後回し
	・安全は人の力量
101	避難はしない方がい良い?
	個人の判断による
102	福島の災害に対する認識を知らなさすぎた。
103	「1F」~での直接の放射線被ばく者がほぼないということは知らなかったので、考え方が少し変わりまし
	た。
104	自己判断、情報のあり方
105	避難する必要がないと言われたこと
106	避難計画はむずかしいと感じた。
107	避難計画の見通しに今度どの程度反映出来るか疑問
108	「無理な避難はしない」「原子力災害を忘れ、自身の命を守る」再度自分自身の考え方を考えてみる機会と
	なった。
109	避難をしないという考え方もあるということ。
110	無理な避難はいらない
111	複合災害時には、原子力災害対応は後回し
112	複合災害時には、先ず放射線被ばく防止以外の対応を優先し、生命の安全確保を図る。
113	南相馬市の例、放射線の理解
114	半減期のごく短いXe(キセノン)のピークのみ適切に恐れればよい
115	被ばく事故より関連死を優先させるとの考え方
116	原子力災害は逃げないでいい
117	原発災害時避難しなくてよい
	その他の災害に対応する
	避難についてしっかりした考えを持つべきだと感じた。
	安全は規制だけでは守れない。携わる人の意識が大事
120	無理な避難はしない
121	「無理に避難はするべきではない。これによる関連死増を防ぐべき」
	とにかく避難第一と考えていたので違った選択をもつことができました。
122	最後に決めるのは、皆さん!
123	原子力災害は被ばくでなく、ふるさとを壊すこと
	避難なんかしたら、ふるさとがなくなる。
124	災害時避難対応はもとより、災害後の復興なくして本来の住民の姿の復興はないということです。F1事故
	の経過と教訓と共に参考になりました。
	自然災害の恐ろしさもそうですが、それ以上に避難後のリスクも心配ということをお聞きしました。

No.	印象に残った言葉・考え方など
125	先生の分かりやすい説明で内容も良かった。
	原子力災害より自身の恐れる不安の心
126	放射線被ばくによる健康被害も関連犠牲者を出さない原子力防災がわかりやすかった。
127	専門的なお話で良かった。参考になりました。
	自分で考えることが大事だと思いました。
	ふるさとの為に若い世代の方々が避難せず、残るかどうか?
	関連死の原因がわかりません。病気持ちの方、高齢者、障害者等の移動による死なのでしょうか。
128	同様の考え方を持った専門家も多いと思う。しかし、広く認知されないのはマスコミの責任も大きい。
129	・複合災害時は原子力災害を忘れる(目からうろこ、不安がとれた。慌てる必要はない)
	・無理な避難はしない(今日まで考えていたことがオセロのごとくひっくり返った)
130	スライドに絵がなく、場所ない?
	スライドPPT、資料が同じものもある
	知識がある程度ないと理解するのがむずかしい
131	過剰な規制値を設定したおろかさ(食品等に対する)⇒国の責任
132	原子力災害時に避難する必要はないという話
133	1F並みの原子力災害ならば避難不要との考え方に勇気付けられた
134	複合災害の時は原子力災害のことは無視して良いことを聞いて、本当に大丈夫なのか、本当か。事故時に仕
	事に行っていた人が体調を崩しているので信じられない。
135	普段からの学習
136	・問題のある専門家
	・おかしな基準
	・電力会社に嫌われている
137	屋内退避を原則とする
138	国の判断基準は、復興を妨げている合理性のない放射線防護基準となっている
139	規準レベルの設定値の考え方を世界的レベルに合わせることは緊急な課題だと思う。言葉の約束に縛られな
	いようにする為にも考えないといけないと思う。
140	「原子力災害より他の災害避難を優先する」ということがわかりやすかった。
141	正直な話が聞けて良かった
142	複合災害時は、まず、放射線被ばく防止以外の対応を優先し、生命の安全確保を図ること
143	・放射線に対する不安、誤解を払拭するためには正確な知識が大切
	・関連死を出さない計画作成を
	・避難すると帰還困難、市町村の再生は困難である
	・規制だけでは安全は守れない
144	基本的に今迄の概念が変わった。基本の充実をはかれた。
145	原子力と健康
146	避難の必要はないと判断した首長さんがあったこと(すばらしい見識)
	一番こわいのはこわいと思う気持ち
147	・無理な避難により、大勢の人が亡くなる。
	・複合災害のときは原子力災害を忘れてもらう。
148	複合災害時には先ず放射線被ばく防止以外の対応を優先し、生命の安全確保を図る
149	・複合災害時は、「原子力災害」を無視して良い!
	・避難すると故郷の復興ができない!
150	避難についての新たな考えを知ることが出来た(関連死の多さなど)

No.	印象に残った言葉・考え方など					
151	だまってひばくしろ					
152	一番怖いのは不安な心					
153	複合災害時には、放射線被ばく防止以外の対応を優先する。					
154	直ちに避難を行わなかった飯館村や相馬市の方がむしろ関連死が多いということ					
155	「避難することにより、ふるさとはなくなる」					
	無理な避難は、慌ててする必要はないと知りました。					
156	複合災害時は、原子力災害を気にするな					
	ヘタな避難はリスクアップ(死亡率があがる) なるほど					
157	・避難しない避難計画が基本					
	・複合災害時には原子力災害対策は後回しでよい					

No.	ご意見・ご感想
1	・原発に否定的な考えを持つ人にこそ、聞いて欲しい内容だった。
	・周知する方法を考えるべき。
2	是非、柏崎市の防災避難マニュアルの見直しに反映して欲しい。
3	田中さんは飯館村にお孫さんと御一緒に住んでおられるのかなと思いました
4	解答が歯切れが悪い
5	わかりやすくお伝えいただき、ありがとうございました。
	心配していたこと、不安に思っていたことが少し軽くなりました。
6	正しい情報を住民に伝えるのも行政の仕事
	正しく知らないと、こわがるだけ‐こわがることが一番こわい
	今後ともこのような学習会を県下で開いてほしい
7	新しい視点が得られました。ありがとうございました。
8	原子力災害に対する正しい理解が得られた。
9	非常にわかりやすく講演を聞かせて頂きました
10	屋内避難に対しても?のところあり
	それほど不安を持ちすぎるのも良くないと思うが…
11	質問時間で先生の人柄もわかり、より先生のお考えも納得し、質問の運び方も良かったです。
12	放射能による被害はなかったと言い切るのは危険だと感じた。実際にF1で働いていた作業員のご主人が突
	然亡くなった友人がいる。これは放射能をあびながら作業していたからだと感じる。何ももって「ない」と
	言うのか。子どもを育てる親としては内部被ばくをできるだけ減らしたいと願うのは当たり前。チェルノブ
	イリでは保養庁ができている。日本では保養という考え方はどうなっているか。内部被ばくについて、もう
	少しききたかった。
13	家族、知人に伝えたい。
14	貴重なお話を聞くことができました。
	ありがとうございました。
15	先生のマイクが遠く、途中、よく聞こえない場所があり、残念でした。
16	3.11も経験等を踏まえた講演内容であり、今後につながるものであった。こういった講演会を定期的に開催
	することは、住民の災害に対する意識啓発につながる。
17	細かい説明で理解できた
	市長の感想を市の広報で発表してもらえれば
	質問者はかんけつにさせる
	防災計画の見直しを
18	屋内退避がベターだと感じた。一方、実際に行動する際に、そこにとどまる判断ができるか不安を感じた。
	知って、行動することが大切だ。
19	「正しく理解し、正しくこわがる」を考えました。
20	国は国民に対して正しい情報を伝えていただきたいと思いました。
	絶対に情報を隠すようなことをしてほしくないです。
21	こんな人がかつて委員長だったとはびっくりだ。
22	自分のあいまいな知識を確認する良い機会になりました。有難うございました。
23	原発災害ヒナンに対する考え方で自分の考え方と異なる話を聞くことができた。
24	この話がいろいろな人(一番心配している人やこわいからダメ)という人に広がれば良いと思いました。
25	・この講演会を市内各地で開催してほしい
	・まずは不安をとりのぞく
26	複合災害時の避難についてがなかった気がした

No.	ご意見・ご感想
27	違う考えを持っている方の意見も聞いてみたい
28	実に分かりやすく、良い講演でした。
29	安全確保について、人間がやる作業には「ミス」があると思いますが、そのミスをどのように防ぐのか。
30	原子力災害への不安が解消された。
31	・田中先生の貴重な講演会・機会をありがとうございました。地元で伺え、本当にありがとうございまし
	た。
	・立派なカラー刷りの資料もありがとうございました。お陰様でよりよく理解できました。
	・新しく認識、真実の事を認識できました事が多く、有意義に聴講させて頂きました。ありがとうございま
	した。
32	屋内退避と言うが、現状、柏崎の介護施設では東電のバスでの避難となっている。今後の対応を早めに願い
	たい。データに基づいた説明で理解できた。病院・施設内に滞在する施設整備というが資金が多く掛かる。
	どうする!
	Q4欄外:不安は残る
33	年度末にやらないでほしい。開催時期がよくない。
34	正しく、ほんとうの実態が知れて良かったです!!
35	田中先生の主張をわかっていてこのような内容の講演会を主催したならば、市長としての考えを速やかに示
	すべき。「避難すべきでない」と考えているのか?少なくとも子どもと妊婦には避難か、核防護施設を利用
	してもらうようにするべき
	Q3・4欄外:内容はわかったが、同意できない。
36	なぜ今まで田中先生の様なことを言っている人が出てこなかったのか?以前から同様なことは言われていた
	のではないか?
37	それでも原発の実現可能性は探求したいと思う
38	分かりやすい複合災害時等の対応説明をいただき参加できてよかったと思っています。
39	先生の言う、放射線はしんぱいする必要がないというデータや見解には全く納得いかなかった。それに重大
	な事故があった場合に、ヨウ素剤を飲む必要がある時、東電の報告がおそくなれば、全く意味のないものと
4.0	なる。東電にはいんぺい体質を変える努力を強く希望する。
40	原発の事故の時の放射能がそんなに安全ならその時はすべての放射能を東京へ持っていってほしい。柏崎の
	放射能汚染は絶対反対!
	O4個なり、疫粉は毎期でナーな自然ともなりのも特殊と
11	Q4欄外:避難は無理です。放射能をあびるのも拒否する。
41	理解が深まる講演会でした。原子力だけでなく、物事を正しく理解し伝えることが重要と感じました。
42	正しい知識を正しく理解し、正しい行動につなげていくことが大切だと感じた。
43	放射能による健康被害はほとんどなく、避難した事による死者が出ていることにデータを見ておどろきました。
44	た。 被ばくに対する不安は大きくありますが、正しい知識を身に付けていきたいと思います。ありがとうござい
44	
45	ました。貴重なお話をお聞きすることができました。 まずは自然災害に対応するための準備が必要だと思った。原発・原子力災害について正しく理解する必要が
40	まりは自然火害に対応するための準備が必要だる思った。原発・原子刀火害について正しく理解する必要が あると思いました。図書館や市役所内に学習できる場所を作ってほしい。
46	あると思いました。図書館や中伎所内に子首できる場所を作ってほしい。 学ぶ機会を持つこと、継続すること、皆で検討することが大切だと感じたため、自身も継続学習していきた
40	子ふ機会を持つこと、権続すること、首で快割することが人切だと感じただめ、自身も継続字首しているだ いと思う。
47	いと思う。 今回のような講演会を重ね、多くの市民が正しい情報を理解することが大切だと思います。
41	7凹いよりは開供女で里は、タトツ川氏が止しい旧散で垤胜りることが入りたと芯いまり。

No.	ご意見・ご感想
48	複合災害時の対応についての説明が少なく残念だったが、原子力災害、放射能に関する知識を改めることが
	でき有意義であった。
49	複合災害時の避難に関する内容は少なかったと感じた。柏崎の防災冊子と先生の内容との違いを改める必要
	がある。
50	複合災害についての地元企業の取組みについてお聞きしたいと思いました。
51	国の被ばく基準の改正することが適切であるかという議論が進むのかという点が今後考えられれば良い。
52	原子力について正しく理解することが必要と感じた。
53	NCTカメラ、スマホ、パチパチ
54	Web配信していただき、たくさんの住民の方に聞いてもらいたいです。
55	国の情報が正しいのか、報道が正しいのか、専門家の意見が正しいのか、本当に分からなくなってきた。
56	科学的根拠に基づいた分かりやすい内容で勉強になりました。
57	原子力災害時は長距離避難をしなければならないという意識があったが、本日の講演を聞き、考え方が変わ
	りました。貴重な機会をありがとうございました。
58	正しい情報を知ることができ、良かった。ただ不安や怖がるではなく正しい方法を基にした避難方法を理解
	する必要があると感じました。
59	過度の避難は不要との点に同感です。
60	避難しないことの理由(主旨)は分かったが、それと原発再稼働の問題は別と思うのですが。
61	大変有意義だった。福島からの避難者が多いんだろーなと思った(参加者)
62	F-1(水素爆発)以外の事故(テロetc)ではどうなのか。より厳しい事故はないのか。(原発施設がこわ
	れる時は普通の家屋は全てこわれるからないのか)
63	原子力防災の重要性をあらためて感じた。
64	国の原子力政策を改善しなければならない。
65	関連死について、内訳を知りたかったです。
66	講師の話した内容を信じるために、数値分析、整合確認のために勉強が要ると思う。原発ある地域の小・中
	義務教育カリキュラムに入れるのがいい。
67	雲をつかむお話でした。最後は、自分で避難判断するしかないのです。
68	このような科学的、客観的な事実を背景とした講演会の機会を増やすべき
69	改めて科学的見地から聞けて良かった。推進する立場・規制する立場の話が聞けた。本当の1F事故の実情
	が理解できた気がする。
70	避難の仕方による方法等聞きたかった。
71	避難計画の見通し
72	「正しい知識」は何度も言い続けないと落としこみはできないと思う。特に体験していない子供たちへの学
	習のチャンスがあると良いと思う。
73	複合災害に対する避難対応の考えがほしかった。
74	意外な内容でおもしろかった。
75	PAZとUPZのさかい目で、さあと言う時の精神的感情がどう動くかが、非常に関心を持つが如何でしょう
	か?
76	見えないもの、経験のないことなので不安が大きいです。何から始めたらいいのかもわからないです。今回
	の講演を聞き、色々と考えていくきっかけとなりました。
77	他市町村への講演依頼を(市長へ)
78	まだ考えがまとまりません。ここに学ぶ必要があると感じました。
79	正しい理解が重要ということをあらためて感じた。大変わかりやすかった。

No.	ご意見・ご感想
80	肝心な文末のところが聞き取れないところがありました。別スクリーンにテロップがあるといいなと思いま
	した。
81	参集できる人は限りがあるので、ユーチューブ等で今回の動画をアップする等の工夫をして、参加できな
	かった方も気軽に情報収集できるようにしてほしい。今後実際に関係のある若者に届くような方策を考えて
	ほしい。
82	なぜ避難計画が作られるのか
83	市長の働きかけによって原子力災害による不安が大きく減りました。疑問もおおむねみなさんからの質疑で
	解消されました。
	Qの欄外記載:心配な方には短く、自分で勉強されている方には長かったと感じました。
84	個人的に勉強しないとダメですね。
85	原発行政に対する不安・不信感が払拭されない限り、にわかに信じられるものではないと思う。いろいろな
	方面からの話をもっと聞かせてもらいたいと思う。
86	本当に良かった。知らない事が多いのに気付いた。
87	あらためて、良い話を聞かせてもらった
88	二度と同じ不幸が起きない事をいのります。
	原発事故により避難するのは、自分たちが、最初で、最後でありたい。
	前例が無いので、データ収集に私たちを利用してほしい。
	※原発事故により浪江町より避難中
89	これまで同様の説明会に何度も参加しているが一番わかりやすかった。一番納得できた。
90	聴講者の普段から思っている懸念点のために質問時間を長くとれたのは良かったと思います。
91	非常に良かった。特に災害関連死のデータがわかりやすかった。
92	原子力災害時、"すぐに避難"ではないと避難計画にも大きな影響がある。
93	もっとむずかしい講演、数字が並べられた講演かと思ったが、とてもわかりやすく良かった。不安が払しょ
	くされた。
	事故を起こさない対策がまず最初。
	キケンを正しく理解したい。
	田中先生再考、回答もすばらしい
94	特になし
	複合災害の明確な対策を教えてもらいたかった
95	政治の責任が大ということがわかった
96	・住民の理解が必要だが、原子力災害の不安は無くならない
	・国の規準で見直す必要があるなら、なぜ見直さないのか
	・避難に関する内容がなかった
97	大いに参考になりました。感謝します。
98	★安全の規準の設定方法の見直しが必要である。
99	防災に対する市民意識のレベル向上を
100	常識が常識ではなかった可能性が生じた
101	複合災害時の避難については内容が薄かったように思う。
102	自分の考えを押しつけていない所がいいと思った
103	放射線の影響について、住民はもっと理解する必要があると思った。
104	質疑応答の時間が長すぎたと思います。

No.	ご意見・ご感想
105	p 29、除染しなければ…について、未だに除染が完了しない。この点は当時の政治約束だとして今日のエ
	ビデンスに基づき、しなくても良い地域などの判断見直しはできないのだろうか。
	人の英知で解決できると信じたいが、復興が進まないのはある意味、人が作り出した人的災害と感じまし
	た。
106	・放射能に関する知識が180度替わった講演会でした。
	・「避難しない計画」作成に期待します。ふるさとがなくならないように!
107	内容的に理解出来た。
108	ョウ素剤の安全性
109	「最初から結論の出てる人に何を言ってもダメ」はスカッとした
110	1F事故の関連死の内容、何が原因か、対策は無かったのかに説明がなかったのでは。
111	・ぜひ、当市(小千谷市)でもご講演いただきたい。
	・屋内退避が出きない程の住宅被害が出たとき、避難所もこわれた場合、どうすればいいのか疑問である
112	原子力災害と住民避難についての関連が良く分かった。
	避難に当たってあわてることは無い(PAZ地区)
113	現在の柏崎市の方針と真逆であり、今後、柏崎はどの様にしていくのか?疑問に思いました。
114	田中先生、これからも柏崎に関わっていたさきたいです。櫻井市長、難しい問題だと思いますが取りくみお
	願いします。
115	複合でなければどうするのですか?
116	質問コーナーが長い
117	科学的根拠に基づいて避難の考え方等について分かりやすく説明いただいて良かった
118	とてもわかりやすいお話でした、安心感がある
119	大変すばらしい講演会でした。